



治水の現状

▶▶▶ 近年においても洪水による浸水被害が発生



▲両国橋地点の狭窄部

- ◆河口地区の高潮堤防の整備区間では、堤防の高さや断面が不足する区間が存在します。
- ◆ダム下流地区は、標準的な堤防の断面に対して、高さや断面が不足する暫定堤防区間が多くなっています。
- ◆両国橋地点は狭窄部であり、流下能力が不足しています。
- ◆津波浸水想定図では、河口地区は1mを超える浸水域であり、堤防や樋門等の河川構造物の耐震化等を行う必要があります。



河川環境の現状

▶▶▶ 多様性に富んだ自然環境、活発な河川利用



▲河川管理用通路の整備



▲ダム湖でのカヌー教室



▲地域伝統行事「ひな流し」

- ◆小瀬川は多様な動植物が生息・生育・繁殖する豊かな自然環境と水辺景観、良好な水質、地域の人々との水と緑の触れ合いの場があります。
- ◆河口地区は河川管理用通路「水辺の回廊」が整備され、市民に憩いの場を提供しています。
- ◆中市堰から弥栄ダム下流までの区間は親水空間の整備により散策、自然観察、伝統行事のひな流しなどに利用されています。
- ◆弥栄ダムは公園、キャンプ場、教育施設等が整備され、釣り、水遊び、カヌーや体験学習等をはじめ活発に利用されています。



水利用の現状

▶▶▶ 広域な社会の営みを支える

- ◆小瀬川の弥栄ダムから下流で取水される流水は、発電を除くと工業用水が7件（約 6m³/s）と最も多く利用されています。
- ◆小瀬川水系の水利用は、工業用水が中心であり、年間を通じて取水量がほぼ一定です。このため、降水量の少ない冬季に渇水の発生のおそれが高くなります。
弥栄ダム完成以前（平成 3 年 3 月完成）は約 3 年に1回の割合で渇水による取水制限を実施していましたが、弥栄ダム完成後は全国的に渇水が生じた平成 6 年など 3 回に留まっています。
- ◆弥栄ダムは下流で取水されている水道用水、農業用水、工業用水等の安定的な水量の確保に努めています。



▲弥栄ダム



維持管理の現状

▶▶▶ 河道および河川管理施設等の状況把握、効果的・効率的な維持管理

- ◆河川巡視、河川管理施設の点検、河道断面等の測量、雨量・水位・水質の観測等により、河道や河川管理施設等の状況を把握し、計画的・効果的かつ効率的な維持管理を実施しています。
- ◆大雨時や少雨時等に弥栄ダムの治水・利水機能が発揮されるように、ダム放流設備や電気・通信設備等の適正な管理・運用を行っています。
- ◆中市堰の利水機能、塩害防止機能が発揮されるように、ゲートや電気・通信設備等の適正な管理・運用を行っています。



▲堤防点検の実施状況



▲堤防天端の補修状況（元町地区）



小瀬川水系河川整備計画（原案）【国管理区間】の基本理念・目標・実施内容

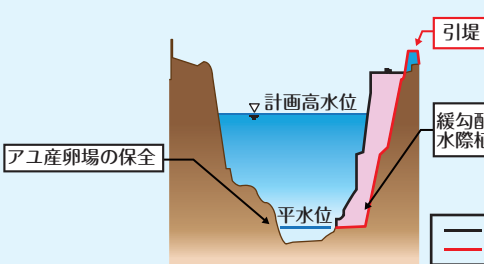
治水

安全・安心な暮らしを確保する

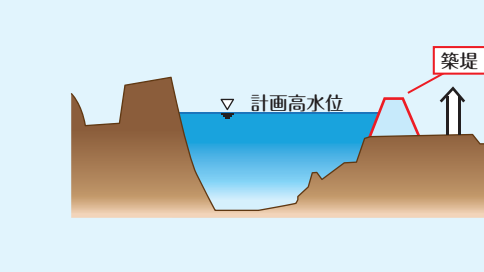
目標

- 小瀬川の戦後最大洪水である平成 17 年 9 月洪水と同規模の洪水に対して、洪水氾濫による家屋等の浸水被害の防止を図ることが可能となります。
- 高潮対策は計画高潮位の高潮が河川外に流出することを防止し、海岸における防御と一体となって浸水被害の防止を図ります。
- 津波対策は計画津波が河川外に流出することを防止することとし、海岸における防御と一体となって浸水被害の防止を図ります。
- 地震対策は大規模な地震動が発生した場合においても、河川管理施設として必要な機能の確保を図ります。

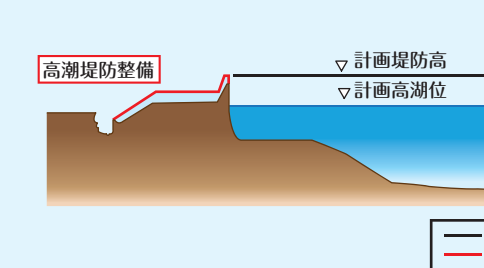
引堤・橋梁改築



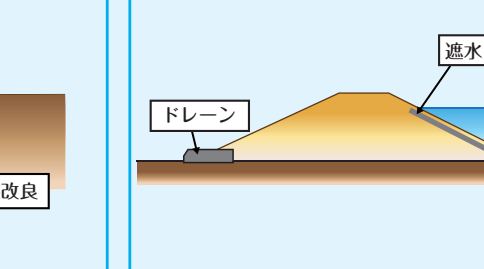
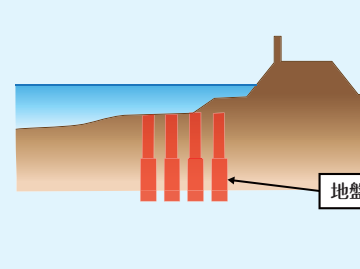
築堤



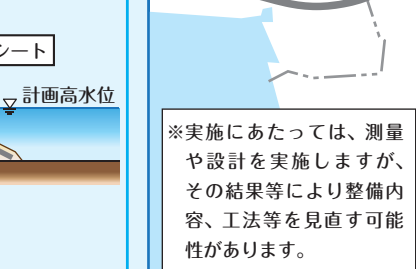
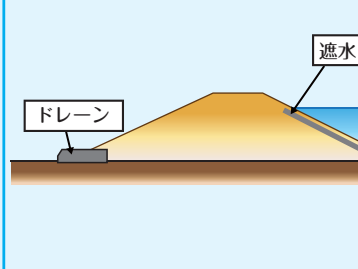
高潮堤防整備



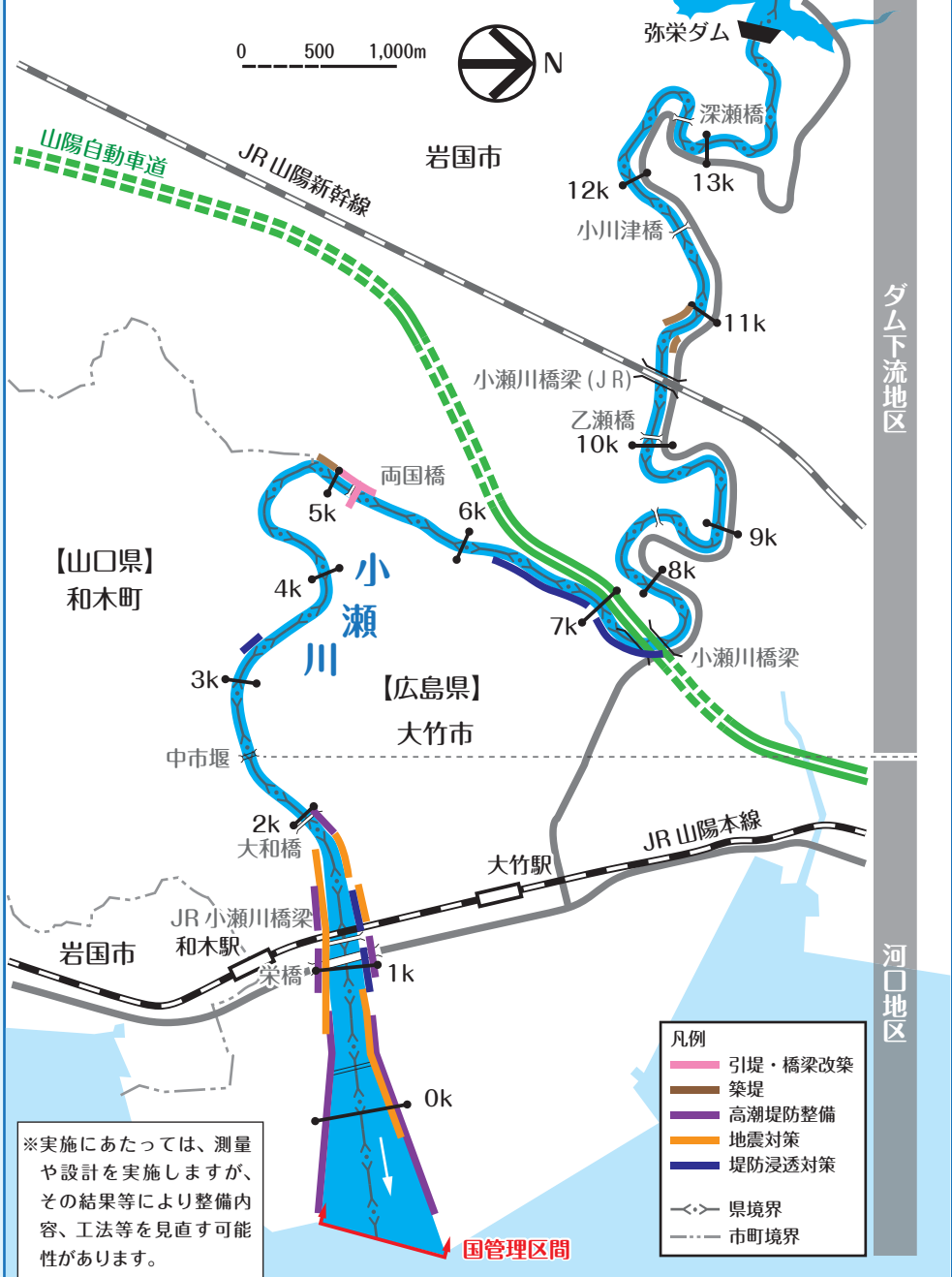
耐震対策



堤防浸透対策



治水に関する整備内容



利水

地域の豊かな社会の
営みを支える

目標

- 水道用水、農業用水、工業用水等の利水の現状、動植物の保護、漁業、景観及び流水の清潔の保持を考慮した流水の正常な機能を維持するために必要な流量の確保に努めます。

河川環境

豊かな自然を保全し、
水と緑のふれあいを
継承する

目標

環境
自然

景観・水質
河川利用・

- 動植物の生育・生息・繁殖環境を確保できるよう現状の良好な自然環境の保全・再生に努めるとともに、水際の連続性や魚類の移動の連続性（遡上・降下環境）の確保に努めます。
- 河川利用の現状を踏まえ、幅広い分野における安全・快適な利用の推進により人と河川との関係の再構築に努めます。
- 小瀬川と流域の人々との歴史的・文化的なつながりを踏まえ、人々にうるおいとやすらぎを感じさせる豊かな自然と緑が織りなす、良好な河川景観の維持・形成に努めます。
- 現状の良好な水質の保持に努めます。

維持管理

目標

- 河川管理の目標、目的、重点箇所、実施内容等の具体的な事項を定めた「河川維持管理計画」を基に、計画的な維持管理を継続的に行います。
- 「河川維持管理計画」の運用に当たっては、小瀬川の状況を把握し、維持管理対策を行い、得られた知見の分析・評価を反映する「サイクル型維持管理」体系を構築し、適宜見直しを行います。

【お問い合わせ先】

国土交通省 中国地方整備局 太田川河川事務所 調査設計第一課
〒730-0013 広島市中区八丁堀 3 番 20 号 TEL 082-222-9245 FAX 082-222-2432
http://www.cgr.mlit.go.jp/oitagawa/

ご協力ありがとうございました。